

今まで全議会で一般質問をおこないました！（平成23年6月～平成26年9月）

## 平成23年

### ◆6月定例会

- ・地域医療再生計画
- ・発達障がい者支援  
（「デイジー教科書」の導入を提案他）  
デイジー教科書とは、通常の教科書の内容をPCなどを活用して音声や文字で同時再生できるようにしたもの。



### ◆9月定例会

- ・障がい者の教育、就労、生活支援

### ◆11月定例会

- ・教員のメンタルヘルス対策
- ・女性の視点からの防災計画

## 平成24年

### ◆2月定例会

- ・認知症対策  
（若年性認知症他）
- ・防災教育



### ◆6月定例会

- ・不登校児童対策  
（スクールソーシャルワーカーの対応時間他）  
社会福祉士の資格を持つ人が学校や医療福祉などの関係機関と連携し、連絡調整を担いながら、問題の解決に当たること
- ・子どもの相談窓口・チャイルドライン  
（18歳までの子どもがかけられる無料電話（0120-99-7777））
- ・通学路の安全対策
- ・県防災会議への女性委員の登用



### ◆9月定例会

- ・通学路の安全対策
- ・いじめ対策
- ・脳脊髄液減少症の周知と調査  
交通事故やスポーツ外傷などで脳を支えている髄液が漏れて減少することにより、頭痛やめまい、倦怠感などを引き起こす

### ◆11月定例会

- ・防災対策
- ・県有施設におけるLED照明導入
- ・子育て支援  
（支援学校に通う子どもの放課後の居場所づくり他）
- ・がん教育  
（子どもに対するがん教育について他）
- ・県立こども病院への支援

## 平成25年

### ◆2月定例会

- ・障がい者の自立、就労支援
- ・児童養護支援  
（里親制度、児童相談所の職員研修、自立への支援金や貸付制度他）
- ・女性の活躍支援

### ◆6月定例会

- ・待機児童
- ・子どもの貧困  
（ひとり親が働きやすい雇用の場の確保他）
- ・子どもの自殺対策



### ◆9月定例会

- ・地域医療再生計画
- ・健康マイレージ  
日々の健康づくりの実践記録をポイント化して特典を与える制度
- ・パーソナル・サポート・モデル事業  
（生活や就労などでお困りな方の総合的な支援窓口）  
上田生活・就労支援センター連絡先:0268-71-5552
- ・国道143号線 青木峠新トンネル・バイパス工事

### ◆11月定例会

- ・児童相談所の体制強化等

## 平成26年

### ◆2月定例会

- ・災害対策（ヘルプカード等）  
障がいのある人が携帯することで、緊急・災害時や困った時などに、周囲の手助けを求めやすくするもの
- ・ラグビーワールドカップのキャンプ地誘致  
（菅平高原への誘致、高地トレーニングエリア構想）



### ◆6月定例会

- ・地域包括ケアシステムの構築  
（団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けた、医師、看護師及び介護従事者の必要量とその確保について他）

### ◆9月定例会

- ・女性の創業支援
- ・少子化対策
- ・女性の新分野での活躍促進



※詳しい内容については、長野県HPをご覧ください。

# 清水じゅんこ 長野県議会だより

2014

第12号

県民クラブ・公明  
発行責任者 小松千万蔵

長野県庁  
長野市大字南長野字幅下 692-2  
☎026-232-0111（県庁代表）

## ごあいさつ

こんにちは。清水純子です。  
日頃より温かいご支援、ご指導を賜り厚く御礼を申し上げます。

皆様の応援のおかげで、平成23年6月の初議会より今回の9月定例会まで、全議会で一般質問に立ち続けることができました。

今回の県議会だよりでは、今までの3年半の質問内容を整理して、ご報告させていただきます。

今後も、地域に根をはる地方議員として、たくさんの小さな声を形にしていけるよう、全力で取り組んで参ります。ひき続き、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



## 県議会平成26年9月定例会の質疑報告（会期:9月25日～10月15日）

### ① 女性の創業支援について

女性の起業をサポートする専門相談員の配置について、見解を伺います。

⇒女性の創業における課題は、経営や事業に関する専門知識やノウハウの不足、助言者や専門家とのネットワーク不足などがあげられます。女性専門の相談体制の充実も含め、創業支援をしっかりと取り組んで参りたい。  
（産業労働部長）



### ② 少子化対策について

少子化対策の取り組みが県民に知られていない。妊娠から子育てまで一貫した支援情報や相談先情報を記載した冊子を作成し、母子手帳の交付時などに配布することを提案します。



⇒HPの活用やリーフレットの作成等を行いたい。  
また情報の内容や届け方、手法についても工夫し、確実に伝わるように取り組んでいきたい。  
（知事）

### ③ 女性の新分野での活躍促進について

建設業など、労働者不足が課題となっている現在、各種業界と連携し、女性が活躍できる新たな分野での環境整備に取り組む時と考えますが、ご所見を伺います。

⇒女性が活躍できる環境整備を、関係する団体と連携してしっかりと取り組んでいきたい。（知事）



## 連絡先

お気軽に、直接お問い合わせください。

所在地 ▶ 〒386-1102 上田市上田原707-3 クラエンタービル104号

☎ ▶ 0268-75-7279 F A X ▶ 0268-75-7706

e-mail ▶ shimizu.jyunko@orange.plala.or.jp





皆さまからいただいた声が  
ひとつひとつ形になっています！

## 医療

### 大切な命を守る 地域医療体制が前進！

(平成23年6月初議会、平成25年9月議会)

地域を歩く中で多くの声を頂いたのは、地域の医療に対するご心配の声でした。初議会の一般質問から、平成21年から5年計画で実施された「地域医療再生計画」を中心に、上小地域における医療の現状と課題を確認し、提案をしてみました。

以下、事業の成果を紹介します。

#### 地域医療再生計画の成果

##### ① 上田市内科・小児科初期救急センターの整備。

→ 夜間に突然具合が悪くなくても安心して診療してもらえます。

##### ② 二次救急医療を担う病院の受入体制の強化。

→ 上小圏域外への救急搬送割合が減少（18.7%（H21年）→14.2%（H25年））。

##### ③ 信州上田医療センター院内に「地域医療教育センター」を設置。

→ 高度な研修が受けれると研修医等が集まるようになりました。

##### ④ 信州大学医学部附属病院との連携により医師を確保。

→ 信州上田医療センターの医師が増加（36人（H22年）→57人（H26年））。

##### ⑤ 周産期医療では、上田市立産婦人科病院の移転新設と東御市立助産所の開設で、分娩取り扱い件数が増加。

→ 平成20年8月から休止していた信州上田医療センターの分娩取り扱いが平成26年4月から再開となりました！



©KOMEITO



©KOMEITO

## 福祉

### 障がい者の自立、就労を支援！(平成23年9月議会)

障がいのある人も、ない人も共に暮らせる社会を目指す中で、県内企業への一般就労促進を積極的にバックアップするべき！と訴えました。

**結果** 県内4名の一般企業訪問の専門員（※障害者職域拡大アドバイザー）の設置が実現しました！

※障害者職域拡大アドバイザーは、小規模事業所等を中心に、障がい者雇用に対する理解の向上を図り、障がい者を雇用する事業所及び職域を拡大します。



## 教育

### 子ども達に自らの命を守り抜く防災教育を！

(平成24年2月議会)

①東日本大震災の教訓から、災害が発生した時に、自らの命を守り抜くために主体的に行動できる児童生徒を育成する防災教育の確立が必要であると訴えました。

#### 結果

「学校における防災教育の手引き」を県で作成。県内の小中学校で、実践的な訓練が実施されるようになりました！



©KOMEITO

### “一人で悩まないで” 相談窓口が生徒手帳に掲載！(平成25年6月議会)

②いじめ、虐待等による子どもの自殺には十分な対策がなされていないのが現状です。学校現場において、各種相談窓口を生徒手帳に掲載し、必要な時に相談する場所が分かるように取り組むことを提案しました。

#### 結果

県教育委員会から、市町村の教育委員会に、相談窓口の生徒手帳への記載推進を依頼。各市町村で順次、実施しています。

## 女性

### 防災対策に女性の視点の反映を！(平成24年6月議会)

①東日本大震災の教訓から、災害時の避難所運営において女性の視点を反映させることの重要性を伝え、県防災会議の女性委員の増員をもとめました。

#### 結果

女性委員の登用が1名から5名に増員されました。



©KOMEITO

### 子育て・介護と仕事の両立ができる社会づくりを目指して！

(平成25年2月議会)

②第1子出産後に6割の女性が一旦、離職するのが現状です。市町村毎に、女性専用の相談窓口の設置を強く要望しました。

#### 結果

平成26年度より、各地方事務所で子育てママを応援する相談窓口が開設されました。この相談窓口ではハローワーク機能も兼ね備えています。



©KOMEITO